

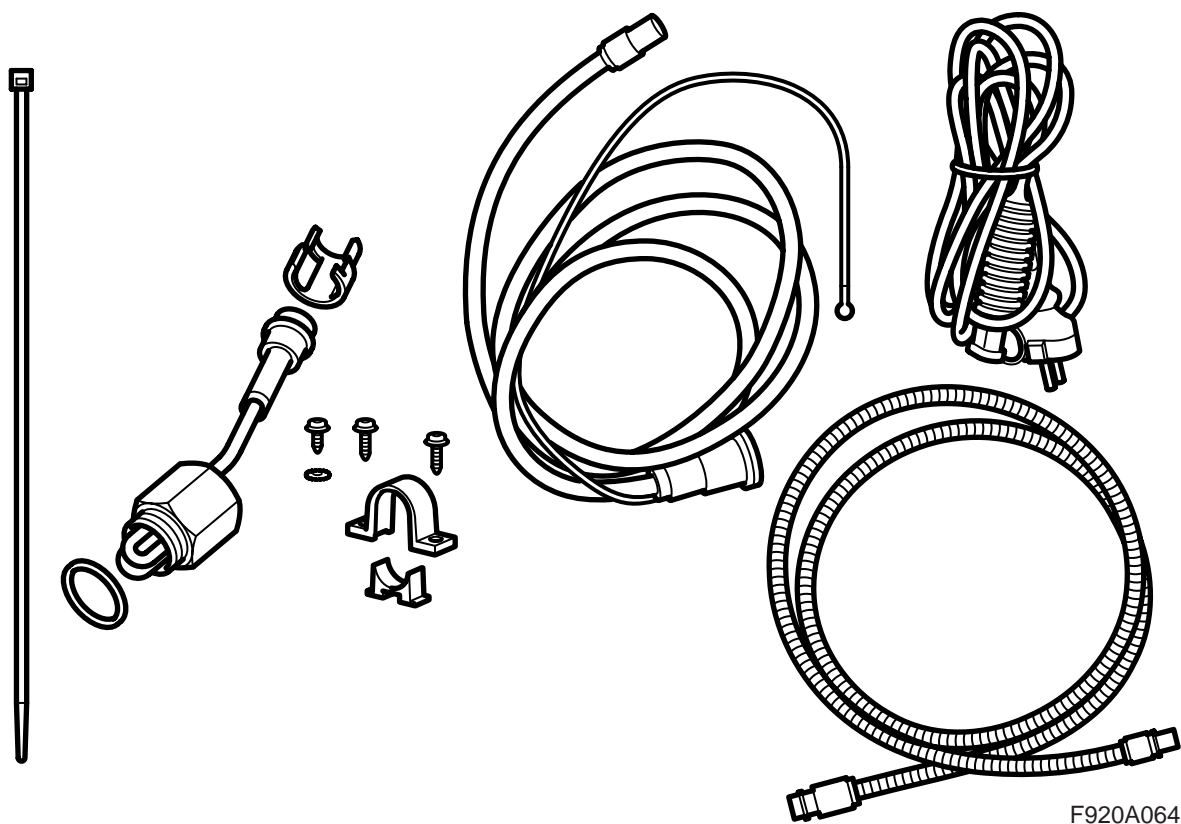


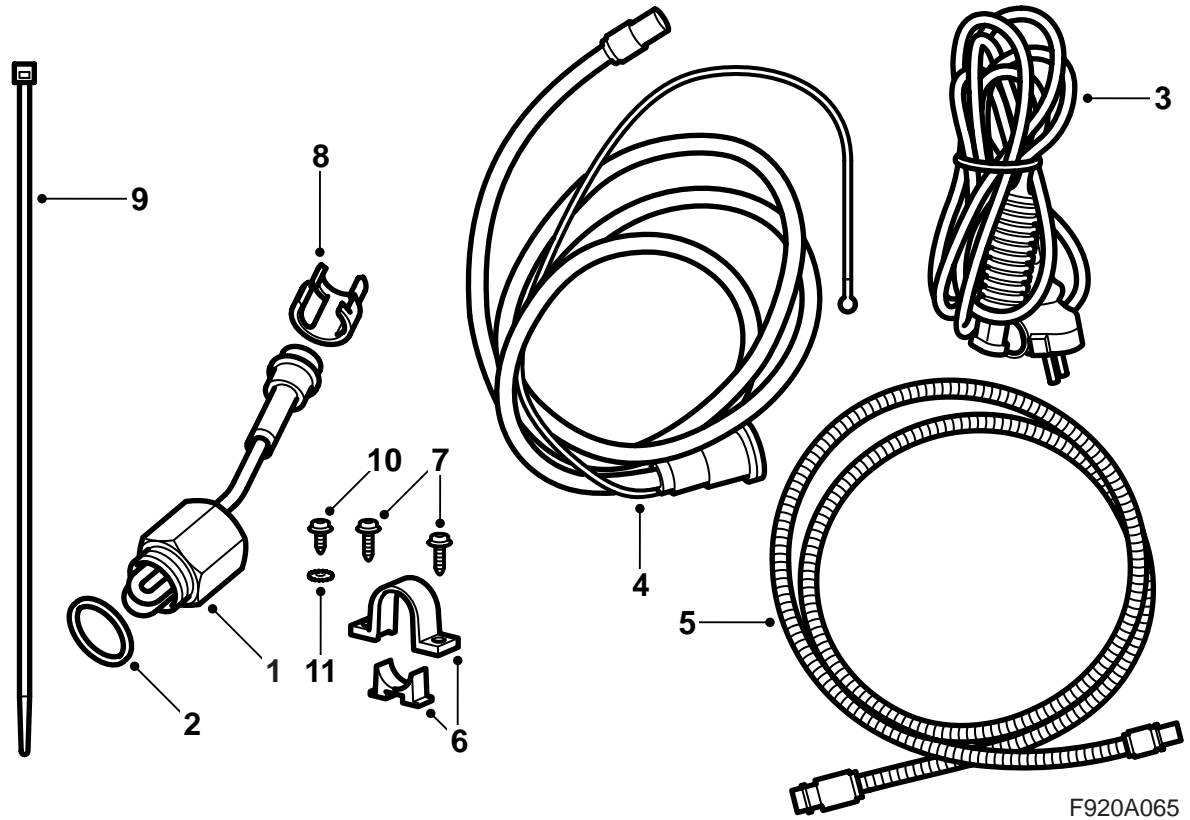
MONTERINGSANVISNING · INSTALLATION INSTRUCTIONS
MONTAGEANLEITUNG · INSTRUCTIONS DE MONTAGE

Saab 9-3 B284E M06-

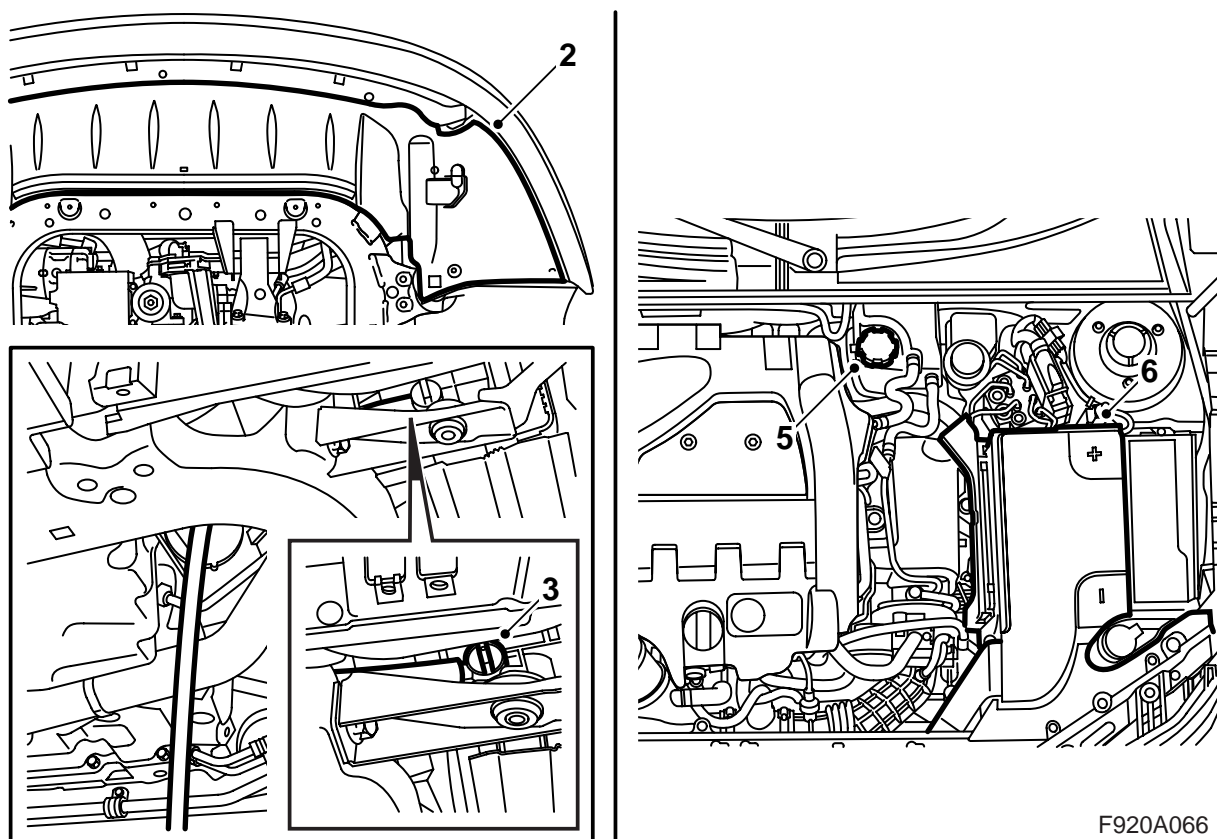
パーキングヒーター

Accessories Part No.	Group	Date	Instruction Part No.	Replaces
32 025 698	9:87-46	Sep 05	32 025 612	

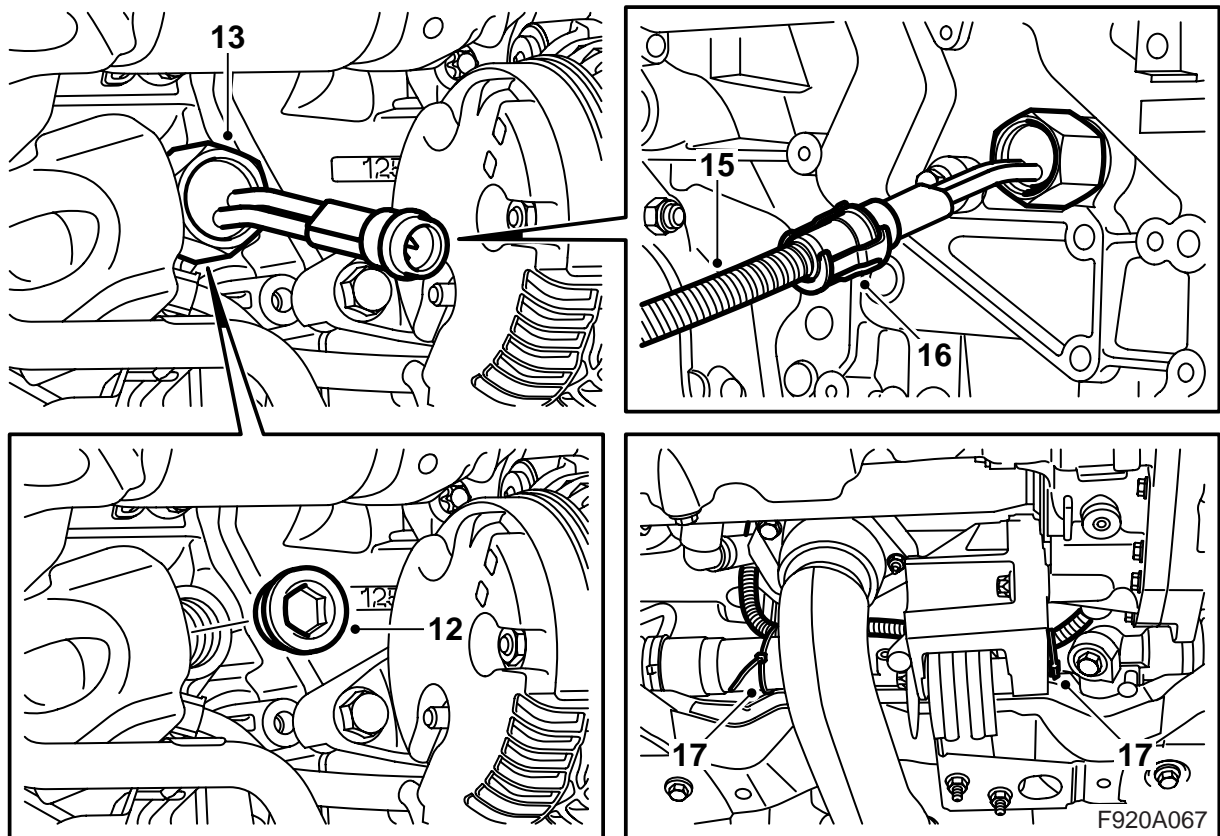




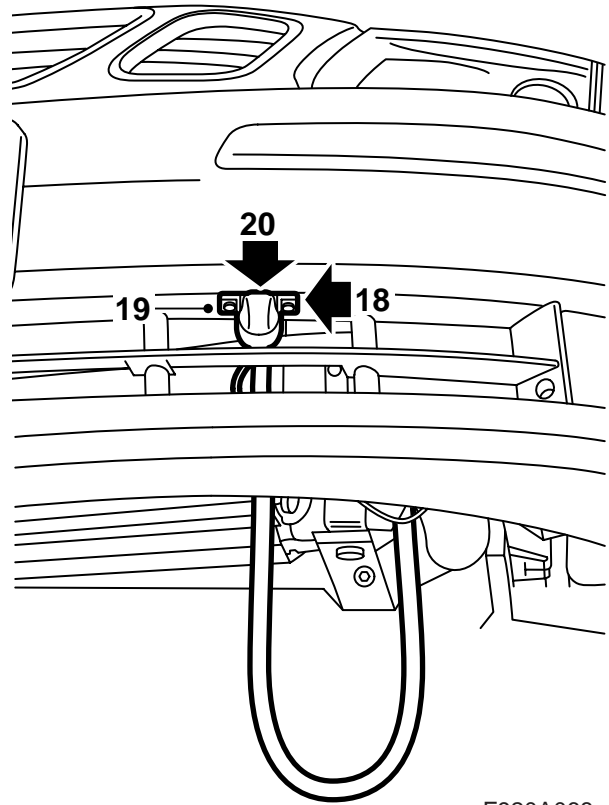
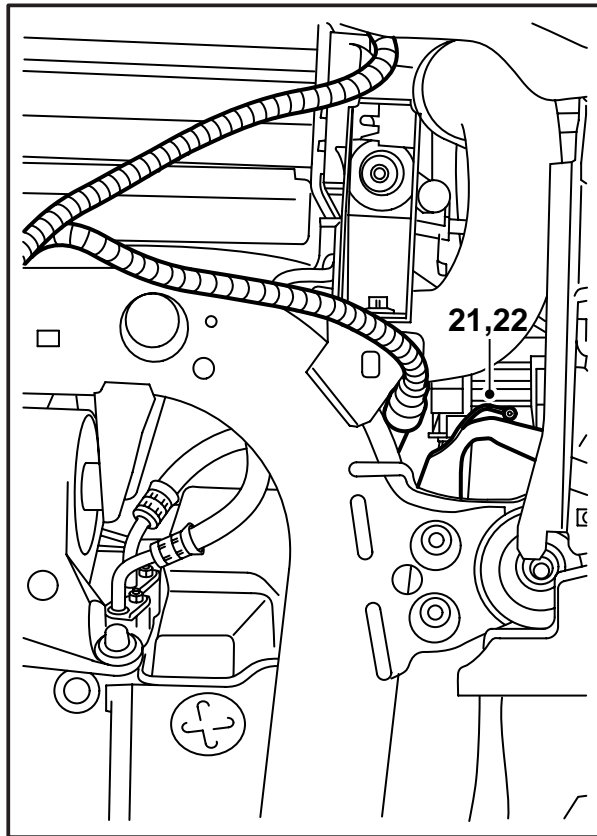
- 1 ヒーターエレメント
- 2 ワッシャ
- 3 接続ケーブル
- 4 コネクターケーブル付きコネクタープラグ
- 5 コネクターケーブル (延長ケーブル)
- 6 ホルダー
- 7 ネジ (x2)
- 8 クリップ
- 9 ケーブルタイ (x9)
- 10 ボルト
- 11 スターワッシャ



- 1 車両を上げる。
- 2 スпойラーシールドを取り外してバンパーのコネクターを分離し、コネクターをスポイラーシールド上のホルダーから取り外す。
- 3 ラジエーターの下に漏れ出る冷却液を受けるための容器を置く。ラジエーターにホースを接続して冷却液を排出させる。
- 4 車両を下ろす。
- 5 エキスパンションタンクのキャップを取り外す。
- 6 バッテリーカバーを取り外す。
- 7 バッテリーのマイナスケーブルを取り外す。
- 8 延長ケーブルの一方の端を、ターボチャージャーとバッテリー前端の間に差し込む。
- 9 延長ケーブルをバッテリーとターボの間に敷設する。延長ケーブルのもう一方の端を後方に向けて配置し、ブレーキパイプ付近からトランスミッションの裏側に届くまで押し込む。
- 10 車両を上げる。
- 11 ラジエーターの栓を閉める。



- 12 エンジンブロックのプラグを取り外す。
- 13 ヒーターエレメントをワッシャと共に取り付ける。
- 14 ヒーターエレメントを締め付ける (パーツ番号 8996480 の特殊工具を使用する)。
- 締め付けトルク : 100 Nm (74 lbf ft)**
- 15 延長ケーブルをヒーターエレメントに接続する。
- 16 ロッククリップを取り付ける。
- 17 延長ケーブルをケーブルタイでステアリングギア内に固定する。



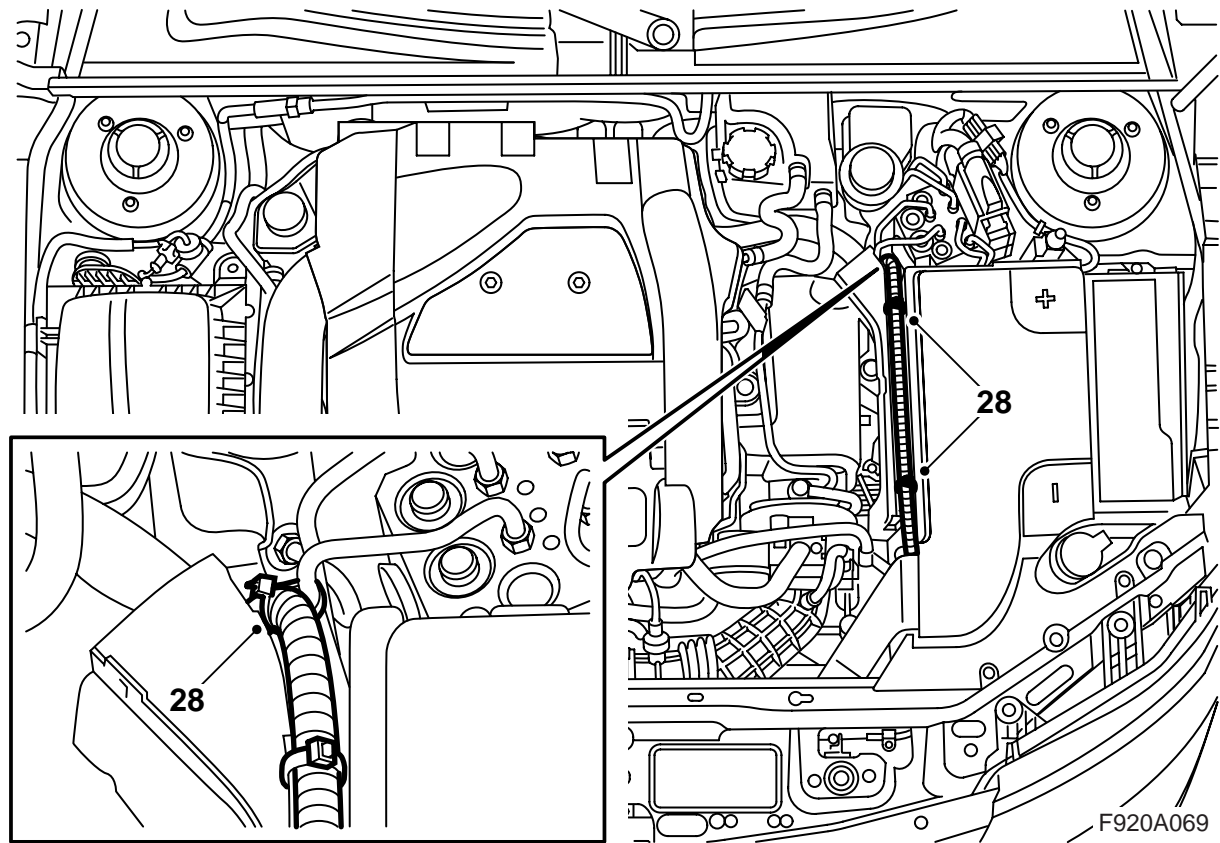
F920A068

- 18 適切な作業高さまで車両を下げ、コネクタケーブルを下部グリルの格子に通し、各パイプの間ならびにラジエーターコアとコアの左ブラケットの間に敷設する。
- 19 ホルダーのフロントエッジがバンパーカバーの線と一致し、開口部の中心となるようにしてホルダーをバンパー下面に配置することにより、コネクタプラグ用ホルダーを配置すべき場所をマークする。このときホルダー上の矢印が前方を向くようにすること。ケガキ針で穴をあける。
- 20 コネクタプラグをホルダー内に配置する。ふたが上向きに開くようにする。ホルダーをバンパーに取り付ける。
- 21 構造メンバー上に位置している分岐コネクタを分離する。3.5 mm のドリルで、構造メンバーにアースケーブル用の穴をあける。
- 22 構造メンバー上に位置している分岐コネクタを接続する。
- 23 構造メンバー上に位置している分岐コネクタを接続する。
- 24 コネクタケーブルを延長ケーブルに接続する。
- 25 車両を下ろす。

重要事項

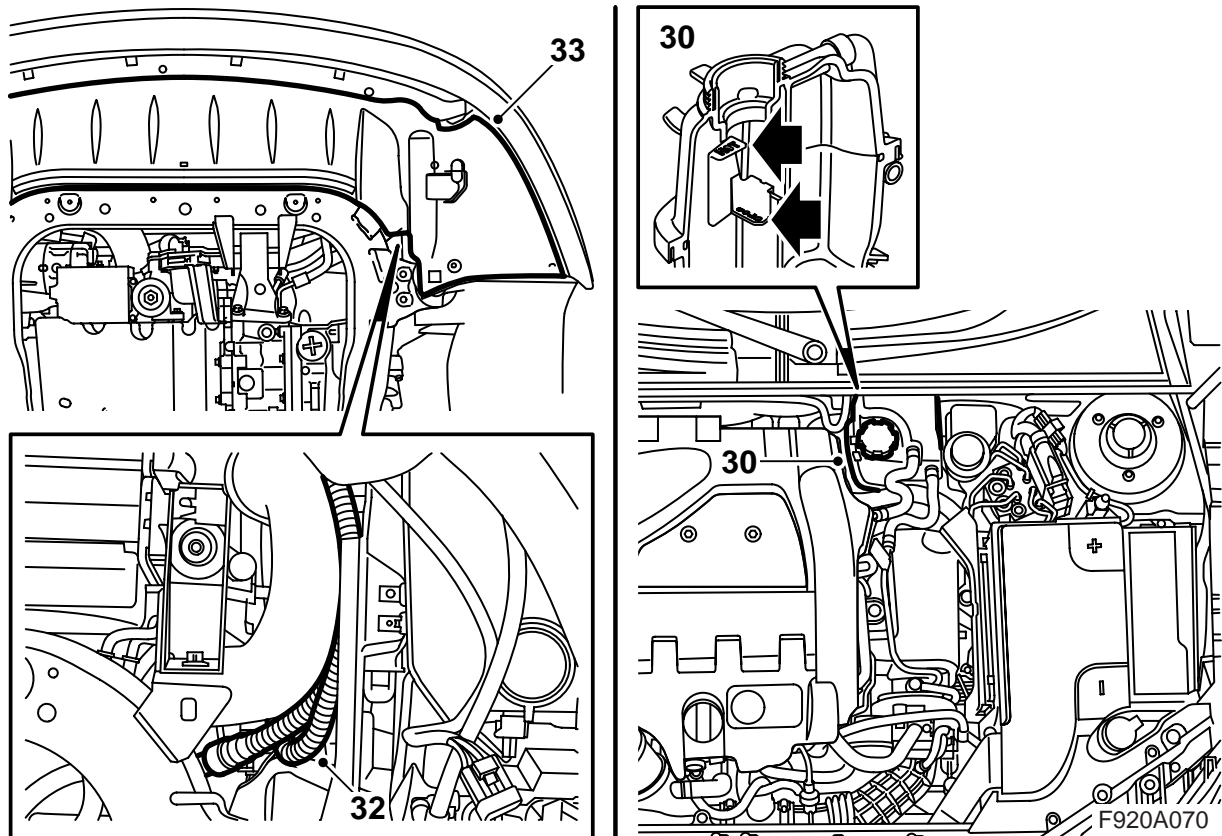
この穴は、角穴のすぐそばにあける必要がある。

- 22 アース接続を完全なものにするため塗装をきれいにかき落とし、ボルトおよびスターワッシャ（スターワッシャはアース線端子とボディの間に配置すること）を使ってアース線をしっかりとボルトどめする。浸透性防錆剤を塗布する。



- 26 バッテリーのマイナスケーブルを接続する。
- 27 バッテリーカバーを取り付ける。
- 28 延長ケーブルをケーブルタイでバッテリーカバーとブレーキパイプに固定する。

F920A069



- 29 冷却液を充填し、エキスパンションタンクのキャップを取り付ける。システムに漏れがないことを確認する。
- 30 冷却システムのエア抜きを下記のように行う：

注記

AC/ACC が OFF の状態にあること。

冷却システムを MAX レベルまで補充する。エキスパンションタンクのキャップを閉め、エンジンを始動し、冷却ファンが回転し始めるまでエンジンの回転速度を変えながら暖機回転する。エキスパンションタンクのキャップを注意深く開け、MAX レベルまで補充する。キャップを閉める。エンジンを止め、必要に応じて MAX レベルまで補充する。

- 31 車両を上げる。
- 32 コネクターケーブルの余剰分をチャージエアホースと樹脂シールドの間に配置する。ケーブルタイで固定する。
- 33 スポイラーシールドをリフトアップし、バンパーのコネクターをホルダーに取り付け、コネクターを接続する。スポイラーシールドを取り付ける。
- 34 車両を下ろす。

ユーザーの方へ

- 接続ケーブルには、耐油性で屋外使用許可を受けた、断面積が $3 \times 1.5 \text{ mm}^2$ 以上のゴムケーブルを使用して下さい。
- ヒーターシステムは、アース付きコンセントへの接続のみが認められています。
- ケーブル類は慎重に取り扱って下さい。特に、ボンネットと車体間に挟まったり、鋭い金属部品などに触れると損傷する恐れがあるのでご注意下さい。



警告

感電を回避するため、コネクタプラグのアースピン、ヒーターハウジング、車のボディの間のアース接続を定期的に点検して下さい。

- アースケーブルに損傷や老化が見られないか、定期的に点検して下さい。損傷したケーブルは直ちに交換して下さい。

注記

下記の場合、ヒーターの機能が劣化する恐れがあります：

- 冷却液が汚れている場合
- 冷却液レベルが不十分であるか、システムに空気が入っている場合
- システムにみぞれ状態の氷がある場合
- ラジエーターシールが使用されている場合